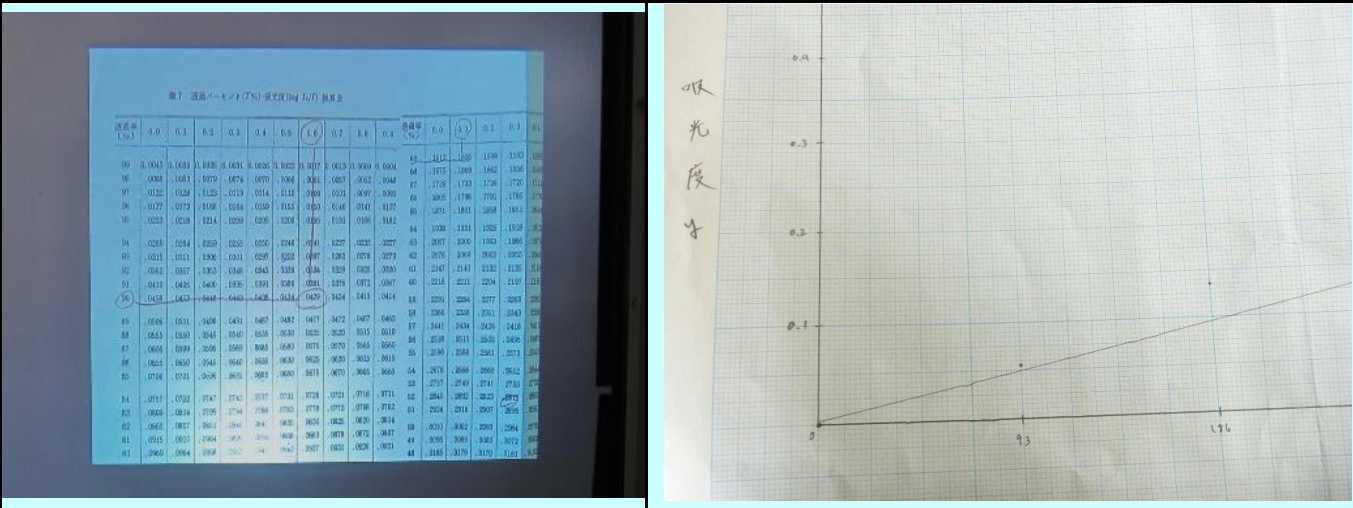


I C T 授業実践例（農業・水産）

1 対象学年・人数	海洋資源科(海洋環境コース)・3年 20名	
2 科目・単元名	海洋環境(実習)	栄養塩類の測定
3 使用したICT機器	書画カメラ・プロジェクタ・スクリーン	
4 活用のねらい	換算表の見方及び検量線の書き方を取得させる。	
5 ICT活用の場面	学習内容・活動	ICT活用の場面
	<p>透過率を吸光度に換算する。 光電比色計で測定した透過率を換算表を用いて吸光度に直す。</p> <p>検量線を作成する。 換算表を用いて求めた吸光度を基に検量線を作成する。</p>	<p>換算表をスクリーンに映し、換算表の見方を説明する。</p> <p>実際に検量線を書きながら、縦軸や横軸の値の取り方、吸光度のプロットの仕方を教える。</p>
6 ICT活用のポイント		
7 生徒の反応	<p>生徒には、口頭で説明を行った後、机間指導をしながら説明をしないとなかなか理解することができなかつたが、スクリーンに映すことにより、換算表のどこを見たらよいかなど説明を聞きながら確認をすることができるため、すぐに理解することができた。</p>	
8 今後の課題	<p>実験器具の使い方の説明にICT機器が使用でき、ホールピペットの標線などを大きく映して説明することにより、生徒の実験の失敗が少なくなった。しかし、実験や実習など生徒の教室での活動(動き)がある場合はコンセントや配線に引っかからないように配慮が必要である。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">デジタル教材</div>	